

平成27年4月15日発行 第556号 毎月1回15日発行

Gyosei-shoshi

Tokyo

行政書士
とうきょう

2015 No.556

4

MONTHLY

- 新年度を迎えて
 - わが道を歩く(第6回)
- 樋渡啓祐氏



東京都行政書士会

川口の盛人Happy Lifeフェアに出展して

北支部

富田 賢

去る3月15日(日)、川口総合文化センターリリア(川口市川口3-1-1、JR川口駅西口)1階展示ホールで開催されました「盛人Happy Lifeフェア」に、個人行政書士としてブースを出展いたしました。

本フェアのタイトルは大変ユニークなのですが、最初に「盛人(せいじん)」という語句について説明しなければなりません。

川口盛人大学は、主に50歳以上の方々の交流と地域参加の機会を提供することを目的に、平成18年度より開講されています。特に24年度からは従来の3コースあった講座を8コース(社会教養・カウンセリング入門・国際・健康生きがいづくり・地域デザイン・ボランティア入門・郷土川口再発見・農業体験)に、定員も100名から300名へと増加させ、また旧・川口市立並木公民館の施設(川口市並木2-3-6、JR西川口駅東口より徒歩5分)を活用して盛人大学専用キャンパスを設置し、事業内容の拡充が図られました。

余談ですが、西川口駅東口から駅を背にして続く道には、「西川口合格通り」という愛称があります(笑)。盛人大学キャンパスの立地条件としては、まさに大人の学生の街さながらに聖地とも言えるでしょう。

私が盛人大学に関わったのは、事務局スタッフの鷲巣敏行氏とのパイプが強く影響しています。

過去の寄稿において私が元・川口市職員であったことは度々触れましたが、「かわぐちボランティアサポートステーション」(平成12年6月開設の埼玉県下で初めてのボランティア・NPO活動支援施設、18年7月より現在の「かわぐち市民パートナーステーション」)の初代所長が鷲巣さんであり、私が15年4月から約一年半所属し仕えた上司でもありました。その当時から盛人事業は推進されていました。

平成13年から「盛人式」を隔年開催することで、50歳以上の成熟した社会人を称え祝うセレモニーが定着し、さらに発展して当該世代の知的好奇心に応え、地域活動の動機付けを目的に18年から始まったのが「盛人大学」なのです。

「今回のフェアを開催することで、盛人式・盛人大学と並んで三本柱となるんだよ」

と鷲巣さんは仰いました。成る程、盛人式は純粋に市内の50歳以上の方のみ対象ですし、盛人大学は申し込んだ受講生のみ対象でありますから、確かに川口市民に限定しない不特定多数の方々を受け入れられる本フェアをもって、盛人事業はようやく完結に至ったとも言えるでしょう。

川口盛人大学は現在では市民パートナーステーションの分室扱いとなっており、鷲巣さんは所長として定年退職後、盛人大学事務局スタッフとなられて、いわば現役時代からの継続案件に勤しんでおられる状態です(本年3月、再任用職員としてもご退職されました、本当に長年お疲れ様でした)。

盛人Happy Lifeフェア
～今の人生を笑顔で暮らしたい人のために～

暮らし
移動展示車
宅配弁当試食
資産運用 労働年金相談
生命損害保険相談
マンション交流
住まいの相談

健康
まわりの保健室
耳つぼ健康法
高齢者総合相談
みんなでラジオ体操
講演「逆流性食道炎」

輝き
折り紙教室
ペーパードール
iPad体験
ハンドマッサージとワンポイントメイク
職業相談 孫のプラン
写真撮影スタジオ 古い
盛人大学案内

エンディング
講話よろず相談
原石の相談
新しい事業の提案
市立施設模型展示
遺言書の書き方とエンディングノート
講演「相続はおそろしい！」

3月15日(日) 10時～16時45分
リア1F 展示ホール (JR川口駅西口) **入場無料**

■第一部 10時～15時
各ブース出展、講演、ステージ

■第二部 15時30分～16時45分
かわぐち盛人 COLLECTION
～いざばあとのファッションショー～

「かわぐち盛人 COLLECTION」
～いざばあとのファッションショー～
開催!!

主催 盛人Happy Lifeフェア実行委員会
〒330-0801 川口市川口3-1-1 川口総合文化センターリリア1階展示ホール

私は早速、鷺巣さんにコンタクトをとり旧交を温め、昨年8月の盛人大学オープンカレッジ夏期講座にて遺言・エンディングノートの講義をさせていただくことができました。27年度盛人大学の通年講座において早くもオファーを頂戴しております（大学入学式は6月7日（日）、私の講義は28年1月23日（土））。

夏期講座終了時に、「（仮称）終活フェアを企画しようと思っているんだけど、3月15日（日）を空けておいてくれない？」と鷺巣さんが切り出しました。

「私はどういったことができるのでしょうか？」

本フェアの趣旨は、「今をどう生きるか？」というコンセプトとして、「暮らし」「健康」「輝き」「エンディング」の4テーマで構成されています。鷺巣さんのお言葉を借りれば“四葉のクローバー”であり、フェアチラシのデザインもその通りになっています。

さいたま市や一般社団法人終活カウンセラー協会でも終活フェアの開催例がありますが、そちらが飽くまで終活（エンディング）一極に限定しているのとは、少し事を異にしていますね。

上記4大テーマに即して展示・販売・PRを行うブース、コーナー及びステージを設け、これからの人生を考えるためのヒントや情報を一堂に集め、当該世代のより良い生き方を提案することになります。また盛人大学サークル（大学卒業生で結成の自主活動団体）の発表・活動の場としても遺憾なく役立てられています。

私は当初、1時間程度のミニセミナー講師のみ勤めないか、と打診されましたが、このような機会は二度とないと即断し、

「ミニセミナーは喜んで行いますが、ぜひ私にもブースをお与えいただけませんか!!」と申し上げました。「富田さんはブースで何ができるのかな？」と質問されたので、

「当然、来場者向けに相続・遺言など各種無料相談に乗ることが考えられます、またミニセミナーの受講生がそのまま私に相談を希望された場合、相談場所を確保する必要もあります、ほかには今までの私の講義DVDの格安販売や、またノートパソコンを持ち込んでDVD上映したり、本物の遺言サンプルの閲覧といったことができます」

実際には私のブース出展につきまして、会場のキャパシティの問題が残りました。しかし私自身は元・市職員であるのは抜きにしても、今まで川口市立各公民館で講義実績を多く積んできているのですから、ブース出展はきっと叶うと楽観的に信じており（笑）、結果としてかように寄稿を執筆している次第です。

当日のフェアの内容としては、4ジャンル20団体のブースが出展、そのほかにミニ講座、展示コーナー、ステージ、そして第二部イベント「かわぐち盛人COLLECTION～じいばあと孫のファッションショー」まであり、本当に多士済々でした。

●「暮らし」のブース

耐震・バリアフリー等の市内女性建築士たちによる住まいの相談、NPO法人によるマンション交流相談、市内信用金庫・証券会社による資産運用相談、社労士による労働年金相談、市内生保・損保会社による各種保険相談

●「健康」のブース

市内地域包括支援センターによる高齢者総合相談、市内鍼灸治療院による耳つぼ健康法、市内自然食カフェによる食品提供、など



●「輝き」のブース

市内大手旅行社による旅のプラン提供、川口市シルバー人材センターによる事業紹介・入会相談、ハローワーク川口による職業相談、市内大手化粧品会社によるハンドマッサージ・ワンポイントメイクコーナー、市内障害者施設による製品展示販売、市内運命鑑定士による占いコーナー、など

●「エンディング」のブース

富田行政書士による相続・遺言の無料相談、市内葬儀社による新しい葬儀の提案、市内石材店による墓石提案、川口市火葬施設による相談、盛人大学卒業サークルによる終活よろず相談

●ミニ講座

富田行政書士によるミニセミナー（遺言・エンディングノート）、折り紙教室、ベーゴマ道場、タブレット体験会

●展示コーナー

市内工務店による移動展示車、宅配弁当試食コーナー、写真撮影スタジオなど

●ステージ

川口公証役場公証人による講演、フラダンス、介護予防体操指導者によるラジオ体操実演、市内大手病院医師による講演、ゴスペル・コーラス披露

ブース出展（10時～15時）については、ひっきりなしに絶え間なく訪問者が訪れ、休憩ゼロという状態でした。幅2m、奥行2.5mのブースはゆったりとしており、目立つ幟旗を立て大いに繁盛しました。

持参したノートパソコンで富田の講義DVDを上映し続けたのが功を奏したのか、DVD（1枚300円、遺言・エンディングノート編、成年後見編、葬儀・お墓編の3種）はかなり売れました。

また事前に過去の講座受講生に案内状を発送していたので、その方々が多数訪れ相談されていきました。中には「富田先生に娘を紹介したいので、連絡をくれ」といった変わった？ご意見も頂戴しました。

ミニセミナー（11時15分～12時15分）については、講義中は当り前のことながらブース当番ができなかったため、当日留守番をお願いした専門家の先生にこなしていただきました。

セミナー自体はつつがなく終わりましたが、立ち見客でも溢れ返り、用意したレジュメ部数が大幅に不足するという嬉しい悲鳴になりました。「後日、当該レジュメを郵送してくれ」と依頼されたりしたので、「その代わりに講義DVD（レジュメ付き）をお買いになったらいかがでしょうか？」と切り返したら、お買い求めいただけたりもしました。



フェアそのものはあっという間に終わってしまい、「もっと続けたかった」という思いでいっぱいですし、我がブース対応で精一杯で、他ブースの見学が全く叶わなかったことが残念でした。来年度もぜひ開催していただきたい、と強く願って筆を置きます。

最後にフェア出展において言葉に言い尽くせぬほどお世話になったスタッフの鷲巣さんと、当日のブースでお手伝いして下さったファイナンシャルプランナー／AFPのYさん（匿名希望とのこと）に感謝の意を表します。